

銃弾流

歴史観の得る方法

自分なりの歴史観を育成するには？

- 1・時代に一人・地域に一人の歴史家の授業・動画・本・音声などを諳んじられるくらい見て・聞いて・読んで時代の流れを掴み、その学者の論・歴史観を徹底的に頭に叩き込む(基礎固め)
- 2・他の歴史家の動画・音声・本を読むことによって感じる違和感を自覚する
- 3・違和感を基に色々な歴史家の意見を調べたり、見聞きして自分なりの結論を出していく
- 4・SNS・オンラインサロン・論理を発信できるような場所に自分の身を置き議論したり、他人の意見に耳を傾ける
- 5・通説とは変わるものであるという前提を忘れずに、研鑽を重ねる。

1・時代に一人・地域に一人の歴史家の授業・動画・本・音声などを諳んじられるくらい見て・聞いて・読んで時代の流れを掴み、その学者の論・歴史観を徹底的に頭に叩き込む(基礎固め)

※用意するもの：中学歴史・高校日本史・高校世界史の教科書

歴史家の講義を聞くにあたって、事実関係の判断のため用意するのは教科書です。教科書の記述には賛否両論ありますが、少なくとも事実関係においての間違いはありません。

大枠(重大事件)の流れを掴み(中学歴史教科書レベルでOK!!)、そこから肉付けをしてゆくのがいいでしょう。この作業をやることによって、自分の歴史観の「基礎」「素地」「下地」ができます。

参考授業動画(例)

- ・映像授業 Try IT (トライイット)：中学歴史・日本史・世界史
- ・N予備校
- ・もぎせかチャンネル(世界史)
- ・じっくり学ぼう日本近現代史
- ・NPO法人eboard：映像授業で勉強を応援！
- ・【竹田学校】歴史入門編

2・一人の歴史観を叩き込んだ後、他の歴史家の動画・音声・本を読むことによって感じる違和感を自覚する

歴史家によって思想信条・歴史観・癖・注目すべき歴史的イベントは必ず存在し、動画・音声・本では絶対に反映される。



他の歴史家の動画・音声・本との違いが理解できるので、違和感として残る



その歴史家の意見を否定せずに柔軟に受け入れる(違和感・疑問の種を増やしていく)

3・違和感・疑問の種を基に色々な歴史家の意見を調べたり、見聞きして自分なりの結論を出していく

※ここから初めて自分の頭で考えるようにする！！

下地・基礎・素地がない段階で物事の判断をするのは不可能！！

個別具体的な研究・出版物・音声・動画・歴史資料センターなどと比較をし、納得できる説明・論説を決定することによって、自分なりの歴史観が形成されてゆく。

4・SNS・オンラインサロン・論理を発信できるような場所に自分の身を置き議論したり、他人の意見に耳を傾ける

自分なりの歴史観を持っていても、自己完結になってしまうと実は消化・吸収されていない場合が多い

SNS・オンラインサロンで共感・批判されることによって自分の歴史観の修正をしたり、共感・批判をされることによってより自分の歴史観が補完・強化されてゆく

5・通説とは変わるものであるという前提を忘れずに、研鑽を重ねる。